

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公表番号】特表2007-506836(P2007-506836A)

【公表日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2006-527986(P2006-527986)

【国際特許分類】

C 08 F 2/50 (2006.01)

C 07 C 313/02 (2006.01)

C 07 C 381/12 (2006.01)

【F I】

C 08 F 2/50

C 07 C 313/02 C S P

C 07 C 381/12

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月1日(2007.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

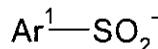
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I

【化1】



|

(式中、Ar¹が、置換フェニル、非置換もしくは置換C₇₋₃₀アリール、または非置換もしくは置換C₃₋₃₀ヘテロアリールであり、前記置換Ar¹が、電子吸引基であるか、または電子供与基と結合した状態の電子吸引基である置換基を有する)のアニオンを有し、かつ少なくとも1つの炭素原子および正に荷電した窒素原子または正に荷電したリン原子のいずれかを含有するカチオンを有する、アリールスルフィン酸塩；および

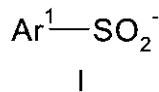
トリアリールスルホニウム塩；

を含む組成物であって、その組成物が400から1000ナノメートル未満の範囲の波長の化学線に暴露されたときにラジカルを形成し、又その組成物が400から1000ナノメートル未満の範囲の波長の化学線を吸収する添加成分を含まない、組成物。

【請求項2】

エチレン性不飽和モノマーと、式I

【化2】



(式中、 Ar^1 は、置換フェニル、非置換もしくは置換 C_{7-30} アリール、または非置換もしくは置換 C_{3-30} ヘテロアリールであり、前記置換 Ar^1 が、電子吸引基であるか、または電子供与基と結合した状態の電子吸引基である置換基を有する)のアニオン；およびトリアリールスルホニウムカチオン；を含むトリアリールスルホニウムアリールスルフィン酸塩と、を含む組成物であって、その組成物が400から1000ナノメートル未満の範囲の波長の化学線に暴露されたときにラジカルを形成し、又その組成物が400から1000ナノメートル未満の範囲の波長の化学線を吸収する添加成分を含まない、組成物。

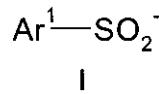
【請求項3】

光重合性組成物がゲル化または硬化するまで、光重合性組成物に化学線を照射することを含む、光重合方法であって、前記光重合性組成物が：

エチレン性不飽和モノマー；

式I

【化3】



(式中、 Ar^1 が、置換フェニル、非置換もしくは置換 C_{7-30} アリール、または非置換もしくは置換 C_{3-30} ヘテロアリールであり、前記置換 Ar^1 が、電子吸引基であるか、または電子供与基と結合した状態の電子吸引基である置換基を有する)のアニオンを有し、かつ少なくとも1つの炭素原子および正に荷電した窒素原子または正に荷電したリン原子のいずれかを含有するカチオンを有するアリールスルフィン酸塩；

トリアリールスルホニウム塩；

を含む、光重合方法であって、その光重合性組成物が化学線に暴露されたときにラジカルを形成し、又その光重合性組成物が化学線を競合的に吸収する添加成分を含まない組成物である、光重合方法。

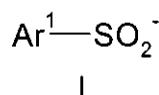
【請求項4】

光重合性組成物がゲル化または硬化するまで、光重合性組成物に化学線を照射することを含む、光重合方法であって、前記光重合性組成物が：

エチレン性不飽和モノマー；

式I

【化4】



(式中、 Ar^1 が、置換フェニル、非置換もしくは置換 C_{7-30} アリール、または非置換もしくは置換 C_{3-30} ヘテロアリールであり、前記置換 Ar^1 が、電子吸引基であるか、また

は電子供与基と結合した状態の電子吸引基である置換基を有する)のアニオンを有し、かつトリアリールスルホニウムイオンであるカチオンを有するアリールスルフィナートトリアリールスルホニウム塩;

を含む、光重合方法であって、その光重合性組成物が化学線に暴露されたときにラジカルを形成し、又その光重合性組成物が化学線を競合的に吸収する添加成分を含まない組成物である、光重合方法。